

## 第12回ヒューマンケア研究学会総会・学術集会にご参加の皆様へ

第12回ヒューマンケア研究学会総会・学術集会

大会長 泊 祐子（関西福祉大学大学院看護学研究科）

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素はヒューマンケア研究学会の研究活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年度は COVID-19 の蔓延のため中止となりました学術集会を本年度は 2021 年 11 月 13 日（土）に Web での開催とさせていただくことになりました。

そこで、メインテーマを「コロナ禍における看護実践・教育の現状と課題」としました。本学会は、保健・医療・福祉に関わる実践者と教育および研究者が学術的発展と教育・普及を図り、人々の健康に貢献することを目的としています。コロナ禍において、広く医療従事者の重要性が再認識される一方、感染予防対策を徹底しながらの看護実践においても、現任教育や基礎教育においても苦悩や疲弊がありながら創意工夫しながら日々を重ねています。

本学術集会では、それぞれのお立場で活動されているシンポジストの皆様のコロナ禍での看護実践のご報告をお聞きし、新たな知見を見出し明日からの看護実践および研究活動に寄与できればと考えています。

本学術集会を実り多いものとするため、多くの方々の一般演題応募と参加をお待ちしています。なお、研究の芽を応援したいと思い、今回から卒論コーナーも設けました。詳細につきましては同封しました資料をご覧ください。

今後ともご支援を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。